

「経カテーテル的大動脈弁植え込み術中の異なる鎮静方法が周術期に与える影響の後向き比較研究」へのご協力をお願い

代表者 所属：麻酔科 職名：主任部長 氏名：萩岡 信吾
共同担当者 所属：麻酔科 職名：主任 氏名：島田 侑弥

1. 目的

非挿管下における経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）において、手術中の鎮静法の違いにより患者に異なる影響を与えるかを明らかにすることを目的とする。

2. 対象と方法

2022年4月1日以降に当院でTAVIを施行された患者のうち、デクスメトミジンまたはレミゾラムを使用されて麻酔管理を行われた患者を対象とする。診療記録・麻酔記録を用いて手術中の麻酔管理の内容、術後の追加検査・治療が必要となったかなどを検討する。

3. 研究期間

倫理審査承認後 ～ 2025年3月31日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔
連絡先：電話 0868-21-8111（担当：麻酔科 島田 侑弥）